

## キミカ、千葉プラントで研究開発機能などの新棟を建設

2021.3.10 No.4698

[関連企業リンク](#)
[キミカ](#)
[関連地域](#)
[千葉](#)

(株)キミカ(東京都中央区八重洲2-4-1、03-3548-1941)は千葉プラント(千葉県富津市)で研究開発機能の向上やアルギン酸の品質向上を目的に研究開発ラボなどを設ける新棟を建設する。鉄骨・鉄筋コンクリート造り地上2階建て延床面積3,450㎡の建屋を建設。2021年7月に着工し、2022年7月の竣工を予定。設計は(株)類設計室(大阪市淀川区)が行い、施工業者は今後選定していく。なお、投資金額は未定となっている。



新棟の完成イメージ

新棟はオフィス、アルギン酸の研究開発を行う研究開発ラボ、アルギン酸の品質管理を行う品質管理ラボ、食品アプリケーションラボ、福利厚生施設を集約した施設となっており、執務エリアは従来比3倍、研究エリアは同4倍に拡張。品質管理ラボにはオープンな理化学試験エリアに加えて、専用エリアとなる機器分析室、微生物試験室、安定性モニタリング室など、医薬品GMP(医薬品・医薬部外品の製造管理および品質管理の基準)にも対応した設備を有し、医療用材料(医薬品原薬、医療機器原料)メーカーにふさわしい試験検査環境を整備する。また、顧客とともにアルギン酸の用途開発を行う食品アプリケーションラボも設け、100人程度を収容できるセミナー室を用意し、アルギン酸の普及と用途開発を加速する。

BCP(事業継続計画)対策では建物全体を50cm底上げしたほか、研究スペース(測定機器)と電気室を2階に配置して水害に備えている。加えて、非常用発電機による電源バックアップで万一の停電に備え、基準の1.25倍以上の耐震性能も付与。設計面では1階(ワンルームオフィス)と2階(ワンフロアラボ)を建物中央に配置したクロス階段(内階段)で有機的に繋げ、社員の回遊性を高めて社員同士のコラボレーションを促す工夫を施した。

※掲載記事の無断転載を禁じます。著作権は(株)重化学工業通信社に帰属します。  
Copyright The Heavy & Chemical Industries News Agency, all rights reserved

[記事の内容に関する](#)
[問い合わせは](#)
[重化学工業通信社 編集部](#)
[TEL : 03-5207-3332](#)
[FAX : 03-5207-3333](#)
[E-mailでのお問い合わせ](#)